

# 社会的側面

## For the Society

私たちは社会と共生する  
「良き企業市民」として  
さまざまな企業活動を通じ  
継続的に社会に貢献していきたいと  
考えています。

### INDEX

- 25 コーポレート・ガバナンス
- 27 お取引先の皆様とともに
- 28 地域社会の皆様とともに
- 30 社員とともに
- 35 株主・投資家の皆様と  
ともに

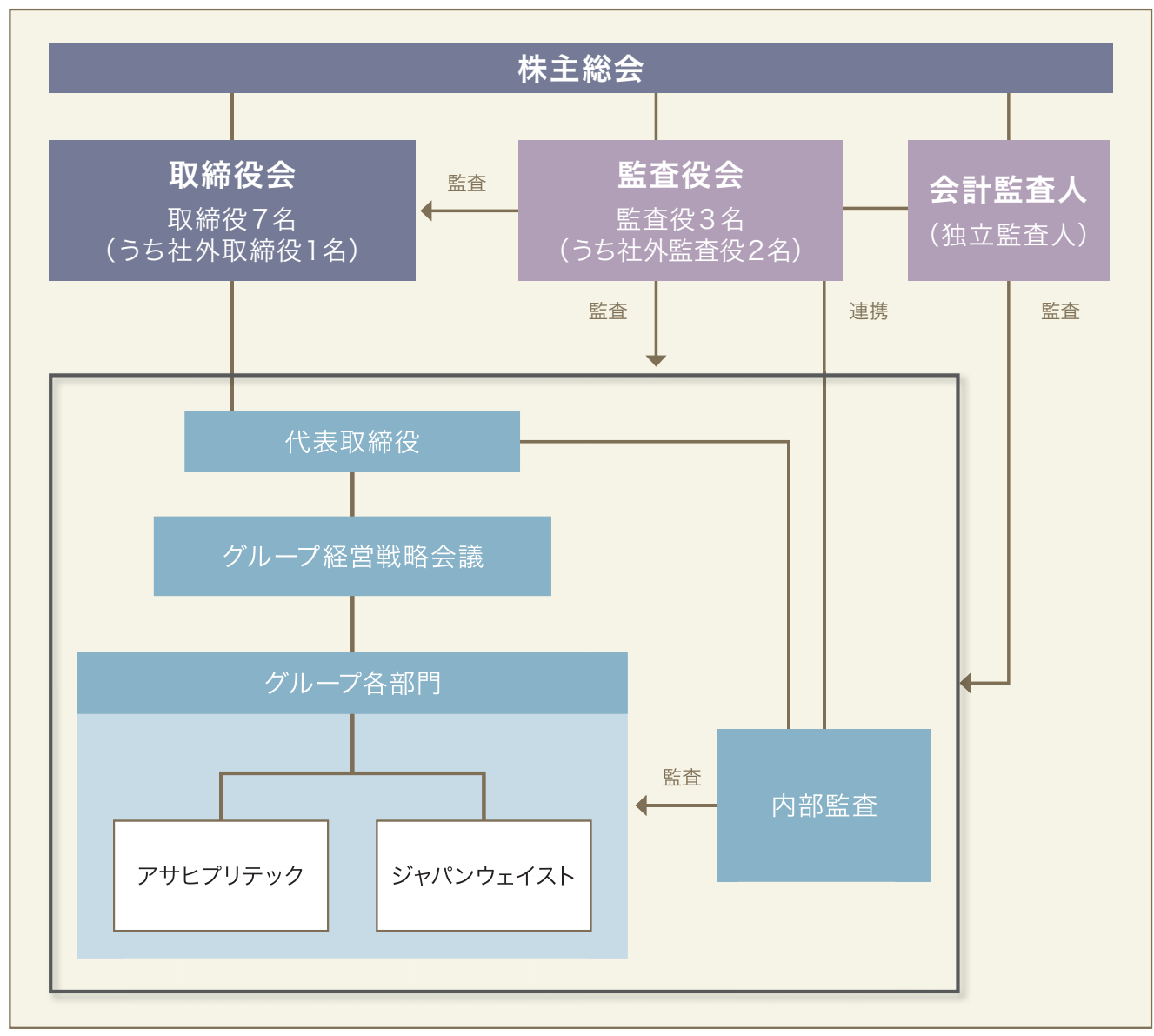
# コーポレート・ガバナンス

持株会社体制のもと、より強固なグループ・ガバナンスの構築とリスクマネジメントの推進に努めています。

## コーポレート・ガバナンスに関する考え方

ステークホルダーの皆様の期待に応えつつ、企業価値の最大化を図るために、持株会社であるアサヒホールディングスを中心として、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。事業会社であるアサヒブリテックとジャパンウェイストは、分野ごとの特性に応じた迅速な意思決定を行い、事業を推進し、競争力の強化と収益力の拡大を図っています。各社がその責務を果たし、企業グループとしての持続的な成長と発展をめざしてまいります。現在は取締役7名中1名、監査役3名中2名を社外から選任しており、いずれも経営に対して独立した立場から監視・監督機能を果たしています。

### ●アサヒホールディングス コーポレート・ガバナンス体制



## 内部統制システムの整備

取締役会・監査役会・会計監査人・内部監査部門・内部統制部門それぞれが有効に機能する体制を確立するとともに、コンプライアンスやリスクマネジメント、情報管理に関する規程を整備し全社的な取り組みを実施することで、内部統制システムの強化を推進しています。また、公正で健全な企業活動を遂行するために、グループの構成員として厳守すべき行動指針をアサヒウェイで定めています。

## コンプライアンス

コンプライアンスは公正な企業活動を実現するための重要課題であると位置づけており、法令遵守および企業倫理の徹底に取り組んでいます。とりわけ、廃棄物の適正処理に関わる事業は環境関連法令や行政の許認可にもとづいており、社員一人ひとりが常に高い遵法精神をもって行動することが求められます。コンプライアンスに関する規程やマニュアルを整備するとともに、社員教育や社員相互コミュニケーションの場において一人ひとりの遵法意識の向上に徹底して取り組んでいます。



情報保護教育

## 内部通報制度

社内で違法、不当な行為などの問題を早期に発見し解決するために、「アサヒホットライン(内部通報制度)」を設けています。社外の法律事務所を窓口とし、匿名での申告も受け付けています。通報案件に関しては、申告者や被申告者の人権やプライバシー保護に配慮した上で調査・是正措置を講じる体制を整備しています。

## リスクマネジメント

企業活動上に顕在・潜在するさまざまなリスクを適切に管理するために、総合的な視点でリスクを把握し、評価および対策を実施しています。リスクマネジメントを推進することで、リスクの発生を未然に防止するとともに、危機に発展した場合の損失を最小限に止めるよう努めています。

## 事業継続計画 (BCP)

大規模災害などのさまざまな要因によって当社グループの事業継続に必要な機能が低下するリスクがあります。被害があった場合も早期に機能復旧をめざすためのアクションプランとして事業継続計画を策定し、以下のような施策を推進しています。

- ・主要工場への自家発電機導入による補助電力確保
- ・工場設備の運転時間調整やオフィスでの節電によるピーク電力抑制
- ・サーバーなど情報システムのバックアップ強化
- ・一部生産、処理工程の分散化(複数拠点による相互補完)
- ・機器設備類の耐震性強化
- ・化学物質等の漏液、拡散を防ぐための設備強化
- ・グループ全拠点(43ヶ所)での飲料水、食料等の備蓄
- ・安否確認、緊急連絡網の整備

## コンフリクトメタルの取り扱い

コンフリクトメタル(紛争鉱物)の不買・不使用を徹底しており、調達方針や管理方針を定め、管理システムを構築・運用しております。また、コンフリクトメタルと一切関わりを持たない精錬業者認証プログラム「EICC-GeSI Gold Conflict-free Smelter Program」([www.conflictreesmelter.org](http://www.conflictreesmelter.org))に基づく指定第三者機関による監査を受けており、当該認証を取得しております。貴金属リサイクル事業者として社会的責任を果たし、当社が生産する貴金属製品を世界中のお客様に安心してご利用いただくために、引き続きコンフリクトメタルの不買・不使用に取り組んでまいります。

※コンフリクトメタル(紛争鉱物)とは、紛争、人身売買、奴隷、強制労働、児童労働、虐待、戦争犯罪などの非人道的行為やテロリスト活動、マネーロンダリングなどの不正行為が認められる国や地域に由来する鉱物を指し、これらの活動資金源になりかねないものとして懸念されています。

# お取引先の皆様とともに

「お客様第一主義」を合言葉に、お取引先の皆様の幅広いニーズにきめ細かく対応できるよう努めてまいります。

## お客様サービス向上への取り組み

### ●お客様満足度調査

定期的に「お客様満足度調査」を実施しています。当社の営業活動全般の満足度を調査し、回答結果をもとに問題点の改善を行っています。今後も定期的に調査を行い、お客様の満足度向上に取り組んでいきます。

### ●公正取引に関する取り組み

当社グループはアサヒウェイ(3頁参照)の中で、「公平な競争を阻害する行為の禁止」、「お取引先の情報や技術等の機密保持」、「不適切な利益授受の禁止」などを定め、公正取引や企業倫理の遵守を徹底しています。

## 品質保証体制

アサヒプリテックでは品質保証部門が中心となり、営業部門、技術開発部門、製品製造部門が合同で「品質保証会議」を開催しています。この会議を通じてお客様の声や市場の動向などを共有化し、お客様満足度の向上に取り組んでいます。

また、お客様により安心・満足していただける製品を提供するためにISO9001を取得し、品質マネジメントシステムの継続的改善・品質の維持向上に努めています。2010年3月には、ISO9001取得4拠点の認証を統合し、全社一体となった品質管理システムの運用を開始しました。

さらに当社はグリーン調達や欧州の化学物質規制法であるRoHS指令、REACH規制にも配慮し、環境負荷低減や有害物質の拡散防止に努めています。



ISO9001 認証書

### ISO9001 認証取得

アサヒプリテック(株)  
テクノセンター  
福岡工場  
愛媛工場  
埼玉工場

## 情報漏洩に対する危機管理体制

営業員が使用しているパソコンやタブレット端末には最新のセキュリティ対策が施してあり、万一端末の紛失や盗難にあった場合でも、リモート操作により情報削除を行うなどの手法で情報漏洩の可能性を限りなくゼロに近づけています。また、埼玉・尼崎に設置しているリサイクルセンターでは2011年3月にISO27001を取得しました。パソコン廃棄にともなう情報漏洩対策としてデータ消去サービスやHDD等の破壊を行い、事業活動を通じて情報保護に貢献しています。



専用ソフトによるデータ消去

# 地域社会の皆様とともに

全国で事業活動を展開している当社にとって、地域の皆様からのご理解とご支援は不可欠です。企業市民として社会と共生する企業であり続けるために、さまざまなかたちで地域に根ざした活動を行ってまいります。

## 活動事例紹介

### ●環境美化への取り組み

沖縄営業所では1999年の開設以来、毎年、所員全員で糸満市西崎周辺の海岸清掃を行っています。同地区の海では海生生物が廃棄物を誤食してしまうこともあり、あらためて環境美化に対する継続的な取り組みの大切さを実感しています。今後も継続して地域環境保全のための活動に積極的に取り組んでまいります。



### ●神戸経済同友会の森プロジェクト

神戸経済同友会主催のボランティア活動である「神戸経済同友会の森プロジェクト」に参加しています。この活動は5年間を通して森づくり活動を支援するもので、参加企業の社員が森林整備や自然観察会などを行います。六甲山系の再度山でのボランティア活動（選木の上、間伐・除伐）など今後も継続的に活動を行います。



### ●不法投棄パトロール・清掃活動の実施

エコマックス株式会社では、神奈川県県央地区の産業廃棄物協議会各社と連携し、茅ヶ崎市寒川町周辺の環境パトロールを定期的実施し不法投棄撲滅を目指しております。県下の重要な水源である相模川の河川敷清掃・環境美化活動に貢献してまいります。



## 事業活動を通じた社会貢献

財団法人8020推進財団の8020運動（80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動）の趣旨に賛同し、活動支援を行っています。

また当社は、日本口唇口蓋裂協会等のボランティア団体が実施している医療援助活動の趣旨に賛同された歯科医院から撤去冠を回収し、金・パラジウムなどの貴金属にリサイクルしています。それらの貴金属の売却を通じて得られた純益が各団体の活動資金として役立てられています。



©V. Dupont/世界の医療団  
世界の医療団による医療支援（スマイル作戦）

### <当社が活動協力している主な団体>

#### ● 財団法人 8020 推進財団



#### ● 特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会

（口唇口蓋裂など口に障がいをもつ子供たちへの医療援助）



#### ● 特定非営利活動法人

メドゥサン・デュ・モンド ジャパン

（戦争・自然災害などで苦しむ人々への医療援助）



世界の医療団  
メドゥサン・デュ・モンド

### TOPICS 1

## TOOTH FAIRY（歯の妖精）プロジェクトへの参画



日本財団と日本歯科医師会の協力により推進されている社会貢献プロジェクト「TOOTH FAIRY（歯の妖精）」では、全国の歯科医院における治療で役割を終えた金属をリサイクルし、内外の子供たちやその家族の支援を行っています。当社は金属リサイクルの協力企業として、同プロジェクトの運営に参加しています。プロジェクト活動としては、難病や重い障害に苦しむ子供たちやその家族の支援施設「海の見える森」や、家族と一緒に住み生活することができる小児がん化学療法ハウス「チャイルド・ケモ・ハウスー夢の病院」の設立に寄与しております。海外ではミャンマーに学校を建設し、貧しい子供たちの教育支援を行っています。

### TOPICS 2

## 国際環境人材育成研修への協力

アサヒブリテックは、福岡県が開催するアジア諸国の環境施策を担う行政官を対象とした国際環境人材育成研修に協力企業として参加しました。北九州工場に海外からの研修生を招き、産業廃棄物の焼却処理に関する講義や工場見学を実施しました。研修生からは活発な質問が行われ、廃棄物処理技術について理解を深めていただきました。



北九州工場での国際環境人材育成研修

# 社員とともに

個性を尊重し仕事を通じて自己を磨き、生きがいと連帯感のある明るい職場を形成することをめざしています。また、一人ひとりが持つ強みを最大限に引き出し仕事に活かせるよう、また社員が自分の仕事に「やりがい」「働きがい」を持って取り組めるように、さまざまなサポートを行っています。

## 安心して働ける環境づくり

### ワークライフ バランス

やりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、持っている能力を最大限に発揮して人生を送ることは、社員だけでなく会社にとっても大事なことです。私生活において重要なものは、家庭や健康、スポーツや趣味など個人の価値観によってさまざまです。当社は、社員が私生活と仕事のバランスをとれるようにサポートしています。

#### ●社員総会の開催

社員総会を毎年開催しています。社員総会ではトップメッセージ、前期実績に関する説明と当期重点課題の発表や、経営陣と社員のディスカッションなどを行っています。



社員総会

#### ●健康管理体制への取り組み

法で定められた定期健康診断（生活習慣病予防健診、特定業務従事者健診、一般健診など）と健康リスクが高まる45歳以上の全社員と管理職全員を対象に「人間ドック健診」を実施しています。また、受診対象者からの要望により、脳ドック、がんの早期発見を目的としたPET検診の受診もサポートしています。

受診率は100%で、会社と社員双方が健康増進、疾病の予防と早期発見に取り組んでいます。

#### ●メンタルヘルスケア

現代社会は、職場や生活に関する不安や悩みによるストレスが蔓延しているといわれています。

当社では、社員の生産性や活力の向上には心の健康が不可欠であると考え、メンタルヘルス専門の産業医と連携し、個別相談会や予防セミナーを実施しています。また、医学的見地から健康増進に関するセミナーも随時実施し、総合的な健康管理に努めています。



個別相談会



メンタルヘルスマネジメント研修

## ●自己申告制度

全社員が年に1回、申告書で仕事上の能力発揮度、適性、やりがい・達成感、人間関係・職場の雰囲気等の各項目に関して自己評価を行い、自らが希望するキャリアプランも記入します。また、チェックリストによる疲労蓄積度自己診断も申告書内で実施しています。

各自が申告書を直接人事部に提出し、人事部は申告内容をもとに担当役員や上司とともに、人員配置の見直し、職場の雰囲気の改善や各自のやりがいを促しています。

## ●全社員インタビュー

3年に1回、全社員を対象に個人面談を実施しています。面談では、現状の職場環境や仕事内容について丁寧なヒアリングを行い、社員一人ひとりのワークライフバランスを考慮した勤務環境の改善に向けて、適正な業務量と勤務時間となるよう指導を実施しています。

## ●社員意識調査

3年に1回、全社員を対象に「意識調査」を実施しています。この調査は職場、仕事、上司、会社に関する社員の満足度や意識・価値観、企業風土の認識を客観的に把握するために行っており、調査結果を組織と人材のさらなる活性化に役立てています。

## ●障がい者雇用

障がいをもつ社員が健常者と同じ職場で各種業務に従事しています。



尼崎リサイクルセンター

## ●育児介護休業制度

出産や育児、家族の介護などと仕事との両立を支援しています。育児介護休業制度にある短時間勤務等により、社員のライフスタイルに合わせた働き方をサポートしています。

## ●リフレッシュホリデー

入社2年目から毎年、3～5日の連続休暇を取得する制度で、土日を含めると9日間連続の休暇が取得可能となり、家族との旅行や趣味に利用しています。



## ●社内クラブ活動支援

野球部やフットサルなどのクラブ活動を通して、職場の同僚やお取引先とのコミュニケーションを図っています。





# 人材育成

## 人材育成に関する考え方

社内のいかなる階層・職種にあっても専門性を重んじたプロフェッショナル人材であることをめざし、独自の資格制度や社内教育カリキュラム、またASG活動とよばれる自発的な小集団活動などを実施しています。さらに、社員一人ひとりの業績貢献度を公平、公正に評価する成果主義人事制度を核に、チャレンジ精神を持った人材育成に努めています。

### ●社員研修制度

入社時期の習熟度に合わせた研修（入社時研修・ステップアップ研修・パワーアップ研修）と階層別の選抜型人材育成研修（ジュニアリーダー研修・マネージャー研修・リーダー研修）を実施しています。そのほか、部門別研修や技

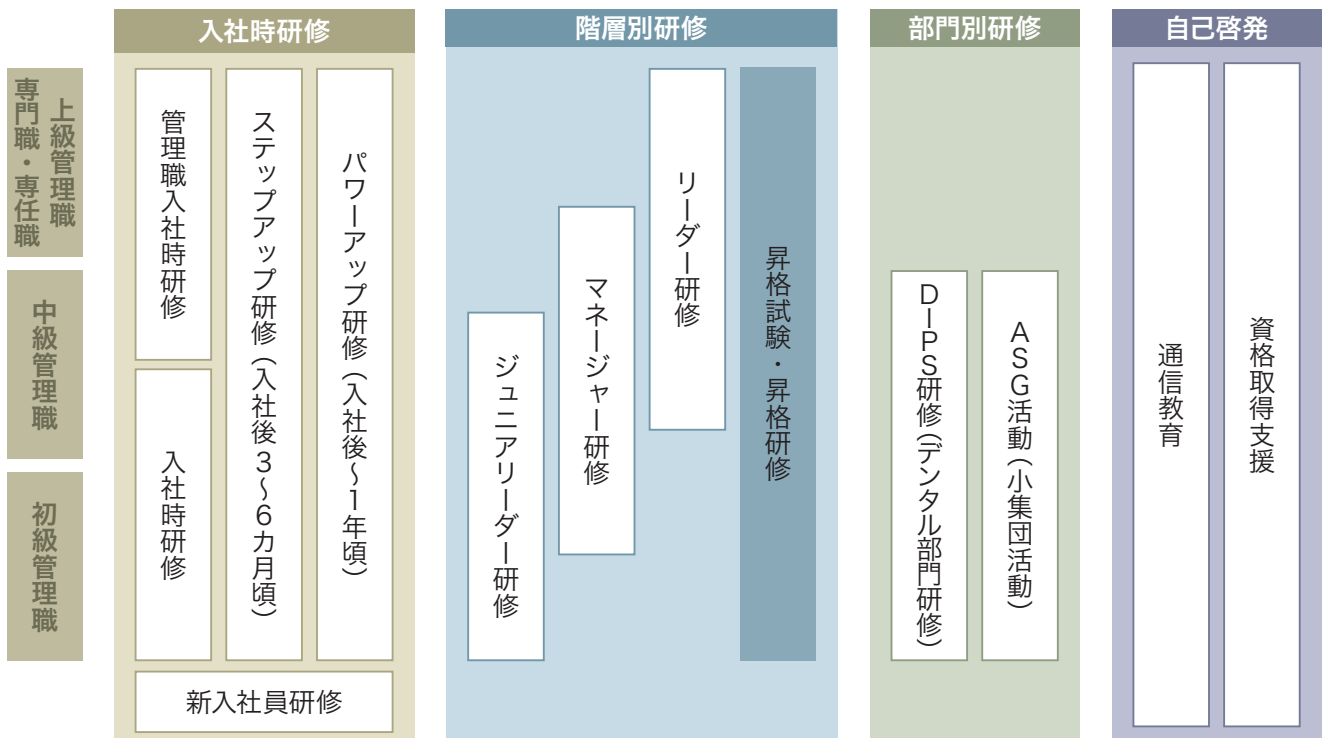
能教育を通じて、個人がプロフェッショナル人材として必要な実務知識を習得し、専門能力を培っていくことができる研修プログラムを設けています。



ステップアップ研修



パワーアップ研修

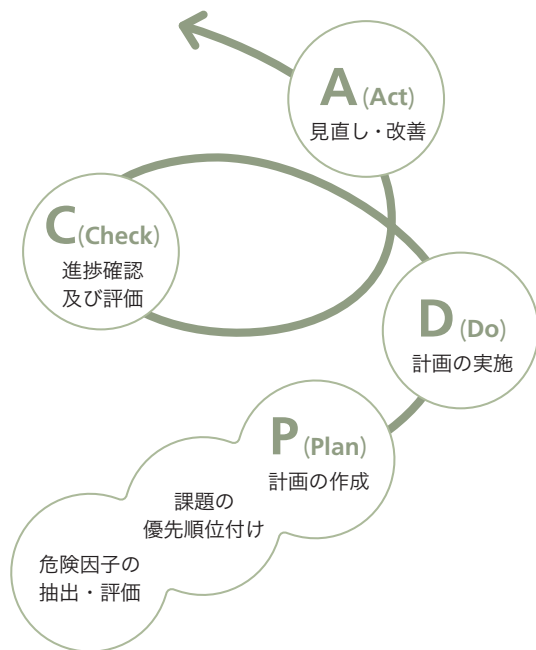


## 安全衛生活動の推進

### OSHMS への取り組み

労働災害を減少させるには、職場に潜在する無数のリスクに着目し、事前にリスクを減少させ、労働災害の芽を摘み取ることが重要です。当社は、労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS\*) の考え方を取り入れ、リスク低減による職場の安全衛生水準の向上をめざしています。

当社のOSHMSでは、危険・有害要因の評価をもとに『計画を立て』(Plan) ⇒ 『計画を実施し』(Do) ⇒ 『実施結果を評価し』(Check) ⇒ 『評価をふまえて見直し、改善する』(Act) という一連のサイクル (PDCAサイクル) を繰り返し実施することによって、職場のリスクを低減することを基本としています。



OSHMS\*: Occupational Safety and Health Management System

#### TOPICS 安全活動の取り組み

当社では職場に潜在するリスクを抽出・改善し、リスク低減を推進しています。他社の重篤な労働災害、有害廃液の流出事故、爆発事故の情報を真摯に受け止め、2012年1月に安全強化特別プロジェクトチームを発足させました。当社の安全基準を厳しくした上でグループ全拠点を現地視察して、危険因子74項目を抽出しました。2012年度は抽出した危険因子のリスク評価を実施し、対策を優先度付けし73項目を改善しました。残りの項目は継続して改善を進めていきます。

### 環境安全教育

環境安全教育は、社員研修制度の「人材育成プログラム」のなかで実施しており、安全に仕事を行うための心構えや、危険物の基礎知識などを教育しています。また、このなかでは「就業中に火災が発生した場合にどう対応するか」などの具体的な緊急事態を想定して、グループ討議を行うロールプレイ形式の教育も取り入れており、各人が実際の現場で取るべき行動を正しく認識できるよう工夫しています。



環境安全教育

現場サポートにおいては、安全衛生に関する専門スタッフにより、営業・工場現場でのOJTを実施しています。作業員・担当者への安全指導により、職場環境安全衛生レベルの向上を図っています。



工場研修

## 緊急事態の対応

安全対策として、事業活動上のリスクを洗い出し、拠点ごとに「安全推進責任者」を決定し、予防策を講じるとともに、万が一問題が起こった場合には、迅速に対応する体制を整えています。

また、緊急事態発生時の社内外への対応として「緊急事態対応管理マニュアル」を完備し、かつ、事故・災害発生初期の対応要領を記載した「事故・災害対応の手引き」を全員に配布しています。

### TOPICS 津波高さの再評価

いつ来てもおかしくないといわれている東海、東南海、南海地震に備えて当社グループ拠点の想定される津波の最大高さを見直しました。具体的には内閣府から津波の最大高さについて見直し数値が公表されましたので、当社グループ拠点の津波高さを調査し、拠点毎に避難場所、避難順路等を共有化しました。また、拠点ごとに防災訓練を実施し、万が一緊急事態が発生した場合にも冷静に対応して被害の拡大防止、事後措置が取れるようにしています。



消火訓練

## 安全活動に対する表彰制度

毎年、安全管理に貢献した事業拠点や社員を対象に社員総会の場で表彰を行い、安全意識の高揚に努めています。



安全活動に対する表彰

## 小集団活動による 活力ある職場形成

同一職場内の社員による自発的・主体的な参加のもと、ASG活動（Asahi Small Group活動）を行っています。活動を通して創意工夫を行い、職場内の問題解決を図っています。優れた取り組みを行ったグループには社員総会で表彰を行っています。

### INTERVIEW ASG活動に参加して

私が勤務する北九州工場では、全国のお客様からお預かりした廃棄物の適正処理と管理を行っております。排出元であるお客様による工場見学、海外からの視察が多い工場です。お客様へ「安心して任せられる工場」という印象をもっといただく事が大切と考え、行き届いた管理を行ない、構内の美観整備や作業環境改善に取り組まれました。

営繕の内製化、管理ルールの見直しなどに重点を置き、単なる清掃活動で終わらないよう自発的に活動できる雰囲気作りをする事で、「いつもきれいな工場」の定着化をめざしました。その結果、組織のコミュニケーションが円滑になり、自主保全の意識から施設に対する理解が深まるなど、日々の業務においても多くのプラス効果をもたらすことができました。

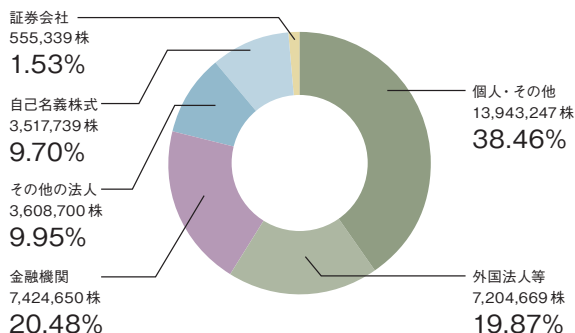


ASG活動 北九州工場  
グループリーダー 児玉 浩二

# 株主・投資家の皆様とともに

成長戦略を積極的に推進し、事業の発展を通じた企業価値の向上と安定的な株主還元を努めています。

## ●所有者別株式分布状況

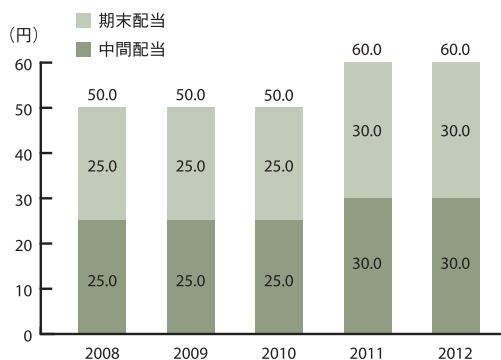


2013年3月31日現在

## 株主還元の基本方針

当社は、企業価値の持続的向上のため、収益基盤の充実を図りながら、成長戦略投資を行ってまいります。その成果配分におきましては、配当性などを指標として、安定的な配当を実施することで、株主の皆さまへの利益還元を実現してまいります。

## ●1株あたり配当金



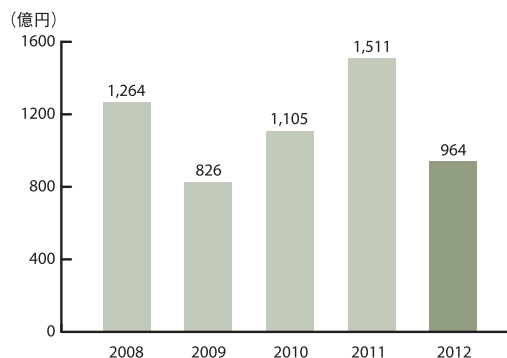
## TOPICS

### アサヒホールディングスの株式が、東京証券取引所よりESG銘柄に選定されました。

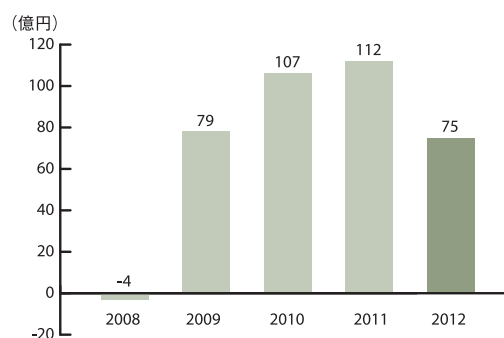
“ESG”とは、Environmental（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の三つを意味しており、ESGへの取り組み姿勢が正しく評価されて投資判断に織り込まれることは、地球環境問題をはじめとした諸課題の解決に寄与するとともに資本市場の健全な発展を導くと期待されています。今回、1,600社を超える東証市場第一部銘柄から、ESGの評価基準が高く、ROEが業種平均以上で且つ最も高い上場企業として15社が選定され、そのうちの1社に当社が選ばれました。



## ●売上高



## ●営業利益



## ●株主資本利益率 (ROE)



## ●自己資本比率

